

基本評価シート

様式

北海道 オホーツク・網走北見区域

(北海道オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（網走・北見区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	小野寺 岳史郎	担当者連絡先	0152-41-0630
捕獲実施事業者	令和6年度北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム（認定を受けている）	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
90頭	11頭	12.2%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ （個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388）	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
35,232頭（R5）	61,491頭（R5）	58,803頭（R5）

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。
--

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和6年12月3日～令和7年3月24日(※委託期間)
実施区域	<p>網走市美岬地区 [網走国定公園] 当該地区は、網走国定公園特別地域に含まれ、隣接する能取湖の水面は道指定能取湖鳥獣保護区に指定されている。 道が実施しているエゾシカライトセンサス調査では道道76号などを調査コースとし、毎年観測を行っているが、近年目撃観察数が増加傾向にある。 当該地区はエゾシカが通年生息しており、多くの国有林と隣接する農地からなっている。近年、農地への被害が増加しているとともに、美岬地区の周囲を走る道道76号にエゾシカが出没することにより、交通事故のリスクも上昇している。</p> <p>網走市によって銃猟及びわな猟(くくりわな、囲いわな、箱わな)が行われている。わなの付近に設置された自動撮影カメラでは、わなに近寄るシカが多数撮影されているが、捕獲数が低迷している。</p> <p>北見市常呂町岐阜地区 [網走国定公園、国指定史跡常呂遺跡] 当該地区周辺ではビート、ばれいしょ、小麦などが生産されており、エゾシカによるこれら作物への食害が甚大である。 隣接するワッカ地区に所在する道指定栄浦鳥獣保護区においても、エゾシカが多数生息していることが確認されており、ワッカ地区が地区周辺の個体の越冬地として機能していると考えられていた。しかし、過去に行われた指定管理鳥獣捕獲等事業における自動撮影カメラによる観察結果より、ワッカ地区における個体の出入りはほとんど無い可能性が示唆された。つまり、常呂地域で農業被害をもたらしている個体はワッカ地区外の個体である可能性がある。</p> <p>一方、当該地区は国指定史跡である常呂遺跡が所在するため、捕獲に伴う工作物の設置等は文化財の現状変更行為に該当する可能性がある。</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る。 ・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・(地独)北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(12.2%達成) = (11実績値) / (90目標値)</p>

捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
捕獲個体の確認方法	<p>【わな猟】</p> <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他（ ） ※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可						
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。						
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。		<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。		<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。	
<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。							
<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。							
<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。							
安全管理の体制	捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、事故防止に向けた捕獲時の現地立入規制体制等を記載させた。 受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。 捕獲事業の実施にあたっては、あらかじめ捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。 捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。 また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。						
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：25人 （内訳） 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：25人						

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：網走市美岬地区における捕獲は今年度が初めてであり、エゾシカの生息状況等の十分な情報がないまま捕獲を実施したため、少ない捕獲数となった。</p> <p>また、北見市常呂町岐阜地区においても、エゾシカの行動が想定と異なり、捕獲エリアにエゾシカが集まることがなく、少ない捕獲数となり、全体として目標を達成することはできなかった。</p>
	<p>改善点：エゾシカの行動が想定と異なった原因として、温暖で少雪という気象条件が考えられる。近年は平年と異なる気象条件となることが多くなっているため、機動性の高いくりわなのさらなる利用を検討すること等により、捕獲数を増加させることができると考えられる。</p>
【実施期間】	<p>評価：当初の予定どおり12月から2月の期間に捕獲等を実施した。</p>
	<p>改善点：今年度は、12月を捕獲の準備期間とし、2月末まで捕獲を実施したが、捕獲しやすい積雪のある時期は毎年異なるため、準備期間を早めること、捕獲実施期間を12月から3月とすること等も検討したい。</p>
【実施区域】	<p>評価：網走市美岬地区においては、109林班作業道で12月上旬に多数のエゾシカが生息していることが確認されたが、12月中旬以降は減少し、1月中旬にはほとんど確認ができなくなった。北見市常呂町岐阜地区においては、個体数は少ないながらも捕獲区域は利用されていることが確認された。</p>
	<p>改善点：網走市美岬地区においては、多くのエゾシカが確認されている時期・場所に集中的な捕獲が実施可能となるよう工夫するほか、移動場所を明らかにし、効率的な捕獲を実施する必要がある。</p> <p>一方、北見市常呂町岐阜地区においては、全体的に個体数が少ないため、そのなかで効率的な捕獲が可能となるよう、手法・捕獲期間等を検討する必要がある。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：今年度は、網走市美岬地区において小型囲いわなを用いた捕獲を行ったが、エゾシカの生息状況等の情報が不十分であり、捕獲が少なくなった。</p> <p>また、小型囲いわなは一度設置すると移動させることが困難であり、生息状況等の変化に対応できなかった。</p>
	<p>改善点：気象条件によりエゾシカの生息状況等が変化するため、機動性の高いくりわなを利用することで、効率的な捕獲が可能となると考えられる。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ、結果の考察等が得意とする団体がコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p>
	<p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p>
【個体処分】	<p>評価：捕獲個体の全てをペットフード原料として有効活用した。</p>

	改善点：捕獲数が少ないため、全ての個体を有効活用できているが、次年度以降、捕獲数が増加した場合でも可能な限り捕獲個体を有効活用できるよう、エゾシカ肉処理施設との連携を図る必要がある。
【環境配慮】	評価：捕獲実施区域の近辺に希少猛禽類が営巣している可能性があったため、捕獲実施期間は2月までとした。捕獲実施期間中の2月に希少猛禽類の調査を実施したところ、北見市常呂町岐阜地区において繁殖の可能性のある営巣木及びオジロワシの個体を発見したため、調査日以降の銃猟による捕獲を中止した。
	改善点：捕獲実施区域は希少猛禽類の営巣の可能性があるので、捕獲実施の際には十分注意する。
【安全管理】	評価：地域住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置、当日の保安要員配置、及び捕獲従事者の事前打合せ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。
	改善点：新たな捕獲区域及び新たな捕獲手法を導入する場合は、適宜、新たに適切な安全管理体制を構築する必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 北見市常呂町岐阜地区に隣接するワッカ原生花園では、北見市による一斉捕獲事業が行われており、それにより警戒したエゾシカが当該地区に移動してくるという行動が令和5年度に見られたが、今年度はあまり見られなかった。今後も、周辺地域における事業等と連携させ、効率的な捕獲方法を実施していくことが必要である。	
4. 全体評価 網走市美岬地区においては、今期事業の生息状況調査により多数のエゾシカが生息していることが明らかになったものの、本格的な捕獲実施前に別の場所へ移動してしまったことから、移動先を明らかにし、効率的な捕獲実施を図る必要がある。 北見市常呂町岐阜地区においては、全体的に生息数が少ないため、周辺地域における事業等との連携を含め、効率的な捕獲を実施方法について検討していく必要がある。 また、北見市常呂町岐阜地区において希少猛禽類の営巣が確認されたため、捕獲実施期間の検討に当たっては、留意しなければならない。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

市町村による許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所でも集中的に実施したことにより、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び市街地への出没を軽減させるほか、市町村の有害駆除と連携することにより、エゾシカの逃避地を作らせないことによる地域全体の捕獲効率向上を期待している。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数＝わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
GPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> GPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}: 60 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 24 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 36 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (銃猟) のべ人日数	36 人日	24 人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}: 155 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 24 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 131 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日数)	281 基日	161 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2: 事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	1 頭	2 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	頭	60 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③ 雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	1.00	0.50	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.00	0.00	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	1 頭	36 人日	0.028 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.139 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	10 頭	9 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.60	0.36	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.40	0.00	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	4 頭	233 基日	0.017 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	6 頭	48 基日	0.125 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：_____ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 11 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

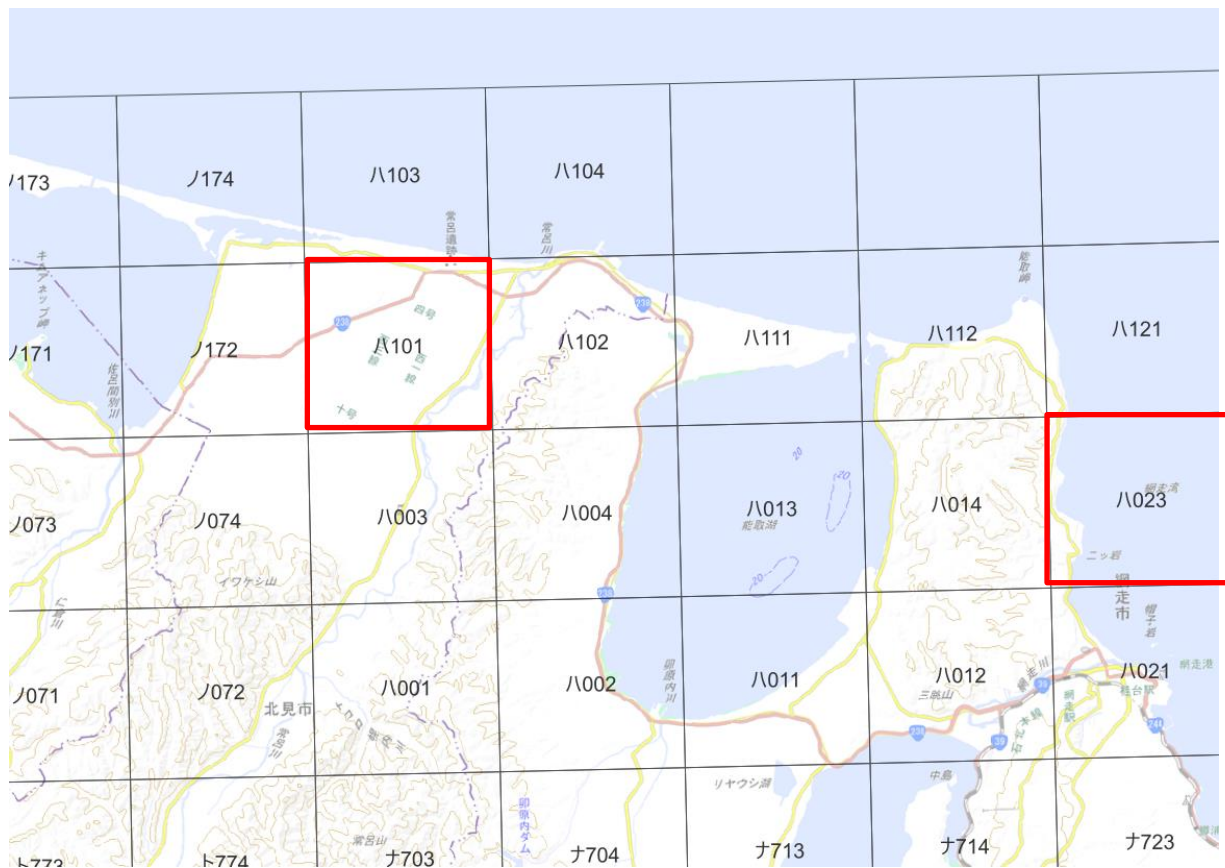
【位置図】



【区域図】



○概況図



ハ101	銃猟	捕獲数 : 1、CPUE : 0.028、SPUE : 0.139
	くくりわな	捕獲数 : 4、CPUE : 0.017
ハ023	小型囲いわな	捕獲数 : 6、CPUE : 0.125